

## ＜事務事業評価表＞

平成26年度 コミュニティバス等運行対策事業

評価表 No. 22  
[単位：千円、人]

1 事務事業の位置付け (Plan)							
所管部課名	商工観光部 商工振興課		担当者	西元哲郎			
根拠法令等			マニフェスト関連	■			
事業の類型	■ ソフト事業 □ 建設・整備事業 □ 施設管理 □ 内部管理						
事業の種類	□ 特定事業 □ 義務的事業 ■ 裁量事業						
政策	都市力を創出するまちづくり		施策	道路・交通ネットワークの整備			
			小施策	交通サービスの強化			
予算科目等	会計	一般会計					
	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費	
	事項	コミュニティバス等運行対策費		細事項	コミュニティバス等運行対策費		
2 事務事業の実施 (Do)							
事業の内容	概要	住民・観光客等に対し、交通利便性の向上のためコミュニティバスを運行するもの。 ・くるくるバス ・廃止代替バス ・北部循環バス ・ゆうゆうバス					
	対象（誰を、何を対象とする事業か）	住民・観光客等					
	意図（どのような状態にしたいのか）	コミュニティバスを運行し、交通利便性の向上を図る					
	手段（市がどのような活動をするか）	市がバス事業所へ運行业務委託を実施					
	事業期間	■ 単年度繰返 □ 期間限定複数年度 (⇒ 年度～年度)					
	活動指標	指標名	目標値	目標年度			
	成果指標	コミュニティバス利用の啓発	年1回	平成31年度			
	コミュニティバス利用者数	37万人/年	平成31年度				
経費及び指標の推移	項目	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額	平成27年度 見込額	平成28年度 見込額	
	事業費	169,798	270,421	227,204	207,688	207,897	
	旅費	373	345	276	276	276	
	需用費	635	554	377	209	209	
	委託料	161,943	166,659	214,129	193,936	194,145	
	使用料及び賃借料		20	20	20	20	
	工事請負費	5,334	478				
	備品購入費		99,607	8,155	9,000	9,000	
	負担金	1,003	1,095	1,197	1,197	1,197	
	補助金	510	1,663	3,050	3,050	3,050	
	地域間幹線系統確保維持費補助金	57	808				
	地区コミ・デマンド運行モデル事業	453	855	860	860	860	
	京泊線運賃差額補助金			2,190	2,190	2,190	
	財源内訳	国・県支出金	10,913	54,744	8,926	8,926	8,926
	その他						
	一般財源	158,885	215,677	218,278	198,762	198,971	
	要員配置状況	2.70	2.50	2.50	2.50	2.50	
職員	2.70	2.50	2.50	2.50	2.50		
嘱託員							
臨時職員等							
活動指標の推移	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回		
成果指標の推移	34万人/年	35万人/年	37万人/年	37万人/年	37万人/年		
特筆すべき事項等	地域間幹線系統確保維持費補助金は、補正予算で計上予定。 京泊線運賃差額補助金は平成26年度新規補助金。						

## ＜事務事業評価表＞

3 事務事業の視点別評価 (Check)								
妥当性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">対象・手段の妥当性</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 改善の余地はある</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 妥当ではない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 住民の買い物、通院、通学、公共施設等への移動手段として、更には観光客の観光等への交通手段や交通空白地解消のためには、コミュニティバスが必要である。</p>	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当ではない			
	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当ではない				
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">市が関与すべき妥当性</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 民間でも可能</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 民間で実施すべき</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 運行は民間事業者へ委託しているが、不採算路線での運行を確保・維持することが民間事業者では難しいため、市が関与すべきである。</p>	市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき				
市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき					
効率性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">事業費の削減余地</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がある</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 削減の余地はない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) コミュニティバスの委託料の経費節減を行うため、運賃改定を平成27年度から実施する予定である。 効率的な運行体系等を検討する必要がある。</p>	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input type="checkbox"/> 削減の余地はない				
	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input type="checkbox"/> 削減の余地はない					
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">要員配置の削減余地</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 削減の余地がある</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 現在の運行体系を維持するための最低必要人数で実施している。</p>	要員配置の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない					
要員配置の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない						
有効性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">成果の達成度</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 達成度はかなり高い</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 達成度はやや高い</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 達成度は低い</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由 ※成果指標の過去の動向把握(5段階)結果を含めて選択理由を記入) ●過去の動向把握…<input type="checkbox"/>大きく改善、<input checked="" type="checkbox"/>改善、<input type="checkbox"/>ほぼ横ばい、<input type="checkbox"/>減少、<input type="checkbox"/>大きく減少 コミュニティバスを利用することで市街地においては渋滞の緩和やCO2の削減にも役立っている。また、利用者は高齢者が多いことから高齢者関連の交通事故防止にもなっている。</p>	成果の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度はかなり高い	<input type="checkbox"/> 達成度はやや高い	<input type="checkbox"/> 達成度は低い			
	成果の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度はかなり高い	<input type="checkbox"/> 達成度はやや高い	<input type="checkbox"/> 達成度は低い				
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">成果の向上余地</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 余地がかなりある</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 余地がある程度ある</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 余地はほとんどない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">市街地と支所地域を結ぶ市内横断シャトルバスや川内地域のコミュニティバスと接続し、利用者の利便性と市街地商店街の活性化を図る。それに併せて既存の運行路線等の見直しを行い、更なる交通利便性の向上を図る。</p>	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がかなりある	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 余地はほとんどない				
成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がかなりある	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 余地はほとんどない					
内部評価結果	<p>今後の改革の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 現状のまま継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性：<input type="checkbox"/>拡大 <input type="checkbox"/>他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/>手段の改善 <input type="checkbox"/>移管 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p>							
	<p>上記方向付けの理由</p> <p>コミュニティバスの委託料の経費節減を行うため、運賃改定を平成27年度から実施する予定である。 運行ルート、運行便数の見直しを進める。</p>							
外部評価結果	<p>改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画</p> <p>薩摩川内市地域公共交通活性化協議会の審議を経て、現在の運賃100円を150円へ運賃改定する予定である。</p>							
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td colspan="2">事務事業の視点別評価</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">妥当性 ⇒</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/>高い <input type="checkbox"/>低い</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効率性 ⇒</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/>高い <input type="checkbox"/>低い</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">有効性 ⇒</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/>高い <input type="checkbox"/>低い</td> </tr> </table> <p>今後の改革の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 現状のまま継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性：<input type="checkbox"/>拡大 <input type="checkbox"/>他の事業と統合 <input type="checkbox"/>手段の改善 <input type="checkbox"/>移管 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>まとめ(補助金等評価を含む。)</p>	事務事業の視点別評価		妥当性 ⇒	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い	効率性 ⇒	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い	有効性 ⇒
事務事業の視点別評価								
妥当性 ⇒	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い							
効率性 ⇒	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い							
有効性 ⇒	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い							

## コミュニティバス等運行対策事業 委託料について

### ■コミュニティバス等

運行地域	川内地域					
運行バス等名	くるくるバス	北部循環バス	南部循環バス	高江土川線	串木野新港線	川内港シャトルバス
車 両	中型バス 2台	小型バス 2台	小型バス 2台	小型バス 1台	小型バス 1台	大型電気バス 1台
路線及び便数	2路線 26便	2路線 18便	2路線 12便	1路線 12便	1路線 4便	2路線 8便
料 金	100円	100円	100円	100円	100円(H26から)	100円
H25利用者数	119,471人	63,289人	23,201人	28,684人	5,883人	—
H25決算額	17,154,670円	269,000円	19,784,000円			—
H25国庫補助金※	—	20,101,000円	—			—
H26予算額	18,596,000円	21,138,000円	22,447,000円			8,879,000円

運行地域	樋脇地域	祁答院地域	入来地域	東郷地域	本土地域	甌島地域
運行バス等名	ゆうゆうバス	祁答院バス	入来地域デマンド交通(事前予約型乗合タクシー)	東郷地域デマンド交通(事前予約型乗合タクシー)	市内横断シャトルバス	里・上甌「甌ふれあいバス」 下甌・鹿島「甌かのこゆりバス」
車 両	中型バス 2台	小型バス 1台	ジャンボタクシー 2台	ジャンボタクシー 2台	大型バス 2台	小型バス等 12台
路線及び便数	14路線 18便	3路線 6便	5路線 27便	3路線 13便	2路線 12便	8路線 69便
料 金	100円	100円	100円	100円	100円	100円
利用者数	16,253人	3,425人	3,514人	5,797人	27,484人	56,901人
H25決算額	9,363,500円	8,310,000円	4,390,884円	7,053,638円	6,754,930円	79,266,608円
H25国庫補助金※	—	—	970,000円	—	15,963,000円	—
H26予算額	9,700,000円	8,671,000円	5,553,000円	7,350,000円	23,576,000円	82,164,000円

※国の地域公共交通確保維持改善事業の対象路線は、国補助金が運行バス業者に入金されてのち、決算額が確定する。

### ■定期観光バス(ボンネットバスを活用した定期観光バス運行業務委託)

H25決算額	5,700,630円	概要	川内駅発着の定期観光バス ・1日コース(日曜:4コース 750円) ・半日コース(土曜・祝日:2コース 500円)
H26予算額	5,847,000円		

## コミュニティバス等運行対策事業 備品購入費について

### ■大型電気路線バス等購入(平成25年度決算額)

- ・大型電気路線バス(1台) 87,038,200円
- ・大型電気路線バス用急速充電器(1基) 8,925,000円
- ・急速充電器用高圧受電設備(1基) 3,643,500円

### ■甌島地域コミュニティバス購入(平成26年度予算額)

- ・コミュニティバス(下甌)用小型車両 8,155,000円



大型電気路線バス「こしきバス」



所管部課名	商工観光部 商工振興課		担当者	西元哲郎				
事務事業名	コミュニティバス等運行対策事業							
根拠法令	薩摩川内市商工観光部関係補助金等交付要綱							
補助経過年数	1年以上5年以下							
平成26年度 予算額	860 千円	国県支出金	その他	一般財源	その他の内容			
		千円	千円	860 千円				
	指標名		目標値		目標年度			
成果指標①	地区コミ・デマンド運行実績		840人/年		平成31年度			
成果指標②					平成31年度			
補助対象者	地区コミュニティ協議会、自治会							
補助対象経費	運行に要する経費及び事務に要する経費							
補助対象事業・活動の内容	地区コミュニティ協議会等がタクシー事業者に委託し、原則として当該地区コミュニティ地域内等でデマンド運行を実施することで地域住民の交通利便性の向上を図る。							
	分類	<input type="checkbox"/> 運営補助のみ <input type="checkbox"/> 事業補助のみ <input checked="" type="checkbox"/> 運営補助と事業補助の両方 <input type="checkbox"/> その他						
補助金額又は補助率	タクシー事業者に支払う金額の100分の50 1箇月当たり事務費 3万円							
上記項目の積算方法	上限額 100万円							
補助を 受ける 3カ 年の 事業 (団体) 等の 決算 状況	項目		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)
	収入	自己資金	26,052	7.4%	93,061	17.0%	495,109	36.7%
		会費収入		0.0%		0.0%		0.0%
		事業収入	26,000	7.4%	93,000	17.0%	495,000	36.7%
		寄付金・その他助成	52	0.0%	61	0.0%	109	0.0%
		市補助金	325,948	92.6%	452,939	83.0%	854,891	63.3%
				0.0%		0.0%		0.0%
		(前年度繰越金)		0.0%		0.0%		0.0%
	計	352,000	100.0%	546,000	100.0%	1,350,000	100.0%	
	支出	事業費	352,000	100.0%	546,000	100.0%	1,350,000	100.0%
		人件費		0.0%		0.0%		0.0%
		その他事務費		0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
			0.0%		0.0%		0.0%	
(翌年度繰越金)			0.0%		0.0%		0.0%	
計	352,000	100.0%	546,000	100.0%	1,350,000	100.0%		
支出計/前年度支出計				155.1%		247.3%		
自己資金/前年度自己資金				357.2%		532.0%		
翌年度繰越金/市補助金		0.0%		0.0%		0.0%		
交付件数		1件		1件		1件		
成果指標の推移①		38人/年		151人/年		653人/年		
成果指標の推移②								
特記すべき事項等	【今年度改善点】	利用者の利用時刻を調整し、できるだけタクシーでの相乗り利用をしていただき、効率的な利用を指導した。						
	【事業のPR方法】	地区コミ・デマンド制度のチラシを地区内で全戸配布、12自治会で制度の説明会を開催した。						
	【費用対効果】	1人当たりの経費が年々向上している。 【H23 8,578円、H24 3,000円、H25 1,309円】						

〈補助金の視点別評価〉

【主管課評価・・・A=合致、B=概ね合致、C=課題あり】

要件	項目	評価	評価した内容についての説明
公益性	補助の対象となる事業又は補助を受ける団体等の活動が、直接又は間接に、不特定多数の市民の福祉の向上及び利益の増進に寄与している。	A	地域内の交通空白地の解消のため、地区コミュニティ協議会が事業主体となって、地域住民の交通利便性の向上を図るための交通手段を確保している。
必要性	次のいずれかに該当するものである。	A	②に該当する。 地域内の交通弱者である高齢者・障害者等の移動手段を確保するため、地区コミ・デマンド交通への支援は必要である。
	① 特定の目標・成果の達成に向けて、一定の団体等に一定の補助を行うことが直ちに必要であると認められる。 ② 社会的弱者の救済、地域的ハンディの克服等の観点から、当面、補助を通じた行政の支援が必要であると認められる。		
有効性	達成しようとする目標・成果が市民ニーズに合致しており、かつ、その目標・成果の達成に向けて、適切な効果を生じている。（その目標・成果を測るための適当な効果指標の設定がなされている。）	A	平成24年度から平成25年度にかけて、利用者が大幅に増加しており、交通空白地の解消のための手段として有効である。
適格性及び妥当性	① 補助の対象となる事業について、行政が直接実施するよりも、行政以外の者が行う方が適当であると明確に認められる。	A	各地区コミュニティ区域内において、タクシー等を活用した独自のデマンド交通の運行を推進し、地域住民の交通利便性の向上を図るためであり、地区コミ協議会が事業主体となった方が適当である。
	② 補助率又は補助額が、明確な根拠によって積算されたものであり、かつ、社会経済情勢に照らし、著しく妥当性を欠く水準とはなっていない。（交付要綱の補助基準）	A	補助基準は、事務費及び運行経費の2分の1の経費を補助しており、年間の経費の補助上限額を設定している。
	③ 補助を受ける団体等の活動状況等に照らし合わせて、自助努力がみられないなど、明らかに半永続的・固定的な補助にはならないと見込まれる。	A	地区コミュニティ協議会が、地区コミ・デマンド制度のチラシを全戸配布したり、12自治会で制度の説明をし、利用者の増に向けた取組みを実施し、効率的な運行に努めている。
	④ 当該補助事業以外にその団体が行う活動の状況においても一定の公益性が認められる。	A	補助対象団体は地区コミュニティ協議会又は自治会であり、公益性が認められる。
	⑤ 特定の目標・成果の達成に向けて、当該補助金等の交付以外に適当な政策手段がないか、又は当該補助金等の交付が最も適当な政策手段であると明確に認められる。	A	地域内の交通空白地の解消のため、地区コミュニティ協議会が事業主体となって地域住民の交通利便性の向上を図ることを目的に、市が補助金を交付することは、有効な政策である。
	⑥ 補助の対象となる経費が、明確に規定され、その内容は補助目的に照らし、公費を充てるものとして、著しく妥当性を欠くものとはなっていない。	A	地区コミュニティ協議会が地区コミ・デマンド交通を運行するため、市が事務費及び運行経費（運行委託料）に対する補助金を支出することは妥当である。


〈補助金の見直し結果〉

内部評価（一次）結果	≪今後の改革の方向性≫ <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の補助金と統合 <input type="checkbox"/> 補助内容の改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	≪上記方向の理由≫ 利用者大幅に増加しており、今後も引き続き制度のPR活動を推進する。
	≪改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画≫ 地区コミュニティ協議会と連携し、更なる利便性の向上に努める。

## 地区コミ・デマンド運行モデル事業補助金資料

### ■平成 25 年 3 月から制度変更時の平佐東地区コミだより

あさひデマンドタクシーが変わります！



**自宅**


《片道100円》

3月1日から

**東郷、樋脇**

**向田、大小路方面**

(実費)



申込み……《行き》 月曜日～金曜日 8:30～17:15  
 平佐東地区コミュニティセンターへ電話  
 《帰り》 行きのタクシーの中で直接

※ 300円チケットをお持ちの方は、100円チケット3枚と交換します。  
 ※ 詳しい資料を別紙(号外・保存版)で作成しました。お読みください！  
 ※ 疑問、質問なんでもお答えします。いつでも平佐東地区コミュニティセンターまでお願いします。

平佐東地区コミュニティセンター ☎ 29-2056

### ■制度変更について

年度	利用者数	1人当たり経費	制度
H23	38人	8,578円	※平成23年6月20日運行開始 ・利用料金 300円(チケット制) ・運行日 月・水・金 ・利用申込先 市比野タクシー
H24	151人	3,000円	・運行日 毎日に変更 ・利用申込先 地区コミュニティセンターに変更
H25	653人	1,309円	・利用料金 100円に変更

